

プログラム

3月11日(金)午後2時46分、大きな揺れが東日本一帯を襲いました。被災状況を知るにつれ、私たちは自然の脅威の底知れなさに震え上がり、その後の救助・復旧・復興の各過程における地図の有用性と問題点を強く認識しました。そうした中であって、国土館大学世田谷キャンパスを会場として行う平成23年度定期大会では、二つのシンポジウムと一つの特別セッションを中心に、地図に関心を寄せる人々による大地震への対応と課題を取り上げます。同時に、各機関の作成した震災関連の地図を数多く展示します。また、8月10日(日)には東京湾沿岸の液状化被災地の一つである浦安市を訪問し、被災と復旧の現状を観察する予定です。多くの方々の参加をお待ちします。

会場へのアクセス

国土館大学世田谷キャンパス梅ヶ丘校舎 34号館 A棟 2階 A207教室

(東京都世田谷区世田谷 4-28-1)

- ・小田急線梅ヶ丘駅下車、徒歩9分
- ・東急世田谷線松陰神社前駅または世田谷駅下車、徒歩6分
- ・渋谷駅南口バス乗場 18番「世田谷区民会館行」バスで終点下車、徒歩1分

※国土館大学ホームページ

(<http://www.kokushikan.ac.jp/access/setagaya.html>)も参照下さい。

参加費

普通会員・特別会員団体構成員

: 1,000円

学生会員: 500円

非会員: 2,000円

※参加費には発表論文・資料集代も含まれます。定期大会に参加されず、発表論文・資料集の購入を希望する会員には、一冊700円(送料込)で頒布します。

※地図・図書展示のみの見学は無料です。

※懇親会費は4,000円(受付でお申し込み下さい)



事務局

〒153-8522 東京都目黒区青葉台 4-9-6 財団法人日本地図センター内

日本国際地図学会事務局 電話:03-3485-5410 Fax:03-3485-5593

E-mail:gakkai@jmc.or.jp ホームページ:<http://www.jmc.or.jp/gakkai/>

第1日 8月8日(月) 10時～17時

時間	題目・氏名	掲載ページ
	《口頭発表1》10時～11時	
10:00	O-1 触地図ガイドブックの作成状況ー全国調査の結果よりー 石毛 一郎 (千葉県立千葉盲学校高等部)	8
10:20	O-2 高等学校における授業以外での地図の利用 小林 岳人 (千葉県立松戸国際高等学校)	10
10:40	O-3 インターネット地図 API を用いた地図教材ウェブサイトの開発 佐藤 崇徳 (沼津高専)	12
	《口頭発表2》11時～11時40分	
11:00	O-4 ストーリー表現に適したデジタル地図のインタフェースデザイン 藤田 秀之* (東京大学)・有川 正俊 (東京大学)	14
11:20	O-5 PC用 Web アプリケーションとモバイルアプリケーションの特性を生かした位置情報コンテンツ作成環境の提案と構築 鍛冶 秀紀*・有川 正俊 (東京大学)	16
	《ポスター紹介》11時40分～11時50分	
11:40	P-1 浦安市の液状化 伊藤 等 (日本大学)	34
	P-2 サンゴ礁浅海域における保全を目的とした地図の作成 鈴木 倫太郎(駒澤大学応用地理研究所)・長谷川 均*(国士舘大学)・前川 聡・佐川 鉄平(WWF ジャパン)・柴田 剛 (株エアロ・フォト・センター)・市川 清士(駒澤大学非常勤講師)・後藤 慶之(横浜市立青葉台小学校)	36
	P-3 基盤地図情報の5mDEMを用いた御笠川の土地条件解析 黒木 貴一*(福岡教育大学)・磯 望(西南学院大学)・後藤 健介(長崎大学)・宗 達郎(西南学院大学)・黒田 圭介(西南学院大学)	38
	P-4 太平洋岸照葉樹林限界域におけるGISを用いた遷移動態の解析ー大縮尺植生図の重要性についてー 岩崎 慶太(国士舘大院・研究生)	40
11:50	《昼休み》11時50分～12時50分	
12:00	評議員会(12時～12時40分) A208教室(34号館A棟2階)	
12:50	《ポスター発表コアタイム》12時50分～13時20分	
	《特別セッション》 「命を守る『地図』とは?」 13時20分～14時40分	
13:20	S-1 趣旨説明と報告 「地図」に見る日米防災教育の違い 太田 弘*(慶應義塾普通部)・長谷川 祐子(在日米軍統合本部消防隊)・大島 英幹(慶應義塾大学)	42
	S-2 地図から防災メッセージを読むー新旧地形図に表われた地形と地名ー 今尾 恵介(作家、地図エッセイスト)	44
	S-3 命を守る情報は地形・地盤図のどこにあるか 松田 磐余(関東学院大学名誉教授)	46
	S-4 震災後の街に命を吹き込む地図 林 秀美(株式会社ゼンリンデータコム)	48
14:40	コメンテーター 森田 喬(法政大学) 《特別セッション》終了	

14:50	<p>《シンポジウム1》 「震災とジオメディア」 14時50分～17時</p> <p>Sy-1 趣旨説明 古橋 大地 (マップコンシェルジュ株式会社)</p> <p>Sy-2 空中写真の幾何補正ボランティア 岩崎 亘典 (農業環境技術研究所)</p> <p>Sy-3 みんなでつくる震災復興クラウドソース 関 治之 (ジオリパブリック・ジャパン)</p> <p>Sy-4 マピオンの震災対応 園野 淳一 (マピオン)</p> <p>Sy-5 ALL311 について 田口 仁 (防災科学技術研究所)</p> <p>Sy-6 クライシスマッピングについて 三浦 広志 (オープンストリートマップ・ファウンデーション・ジャパン)</p> <p>総合討論</p>	50
17:00	《シンポジウム1》終了	
17:10	《懇親会》17時10分～19時頃	

地図・図書展示時間：10時15分～16時

第2日 8月9日(火) 10時～16時50分

時間	題目・氏名	掲載ページ
10:00	<p>《口頭発表3》10時～11時</p> <p>O-6 明治初期ジュルダンらによる『敦賀灣』の図ほかと英国製海図 細井 将右</p>	18
10:20	<p>O-7 ジャック・ベルタン教授の業績についての考察—記号論的接近から地図による語りへ— 森田 喬 (法政大学)</p>	20
10:40	<p>O-8 面積の歪みと角の歪みのバランスを考慮した既存図法の評価 神谷 泉 (国土地理院)</p>	22
11:00	<p>《口頭発表4》11時～11時40分</p> <p>O-9 航空レーザ測量データを用いた景観生態学図作成のマニュアル化の検討 小荒井 衛* (国土地理院)・乙井 康成 (国土地理院)・ 中埜 貴元 (国土地理院)</p>	24
11:20	<p>O-10 XML形式時空間データセットからの地形図描画ツールの開発 中埜 貴元* (国土地理院)・小荒井 衛 (国土地理院)</p>	26
11:40	《昼休み》11時40分～12時40分	
12:40	<p>《口頭発表5》12時40分～13時40分</p> <p>O-11 地震ハザードマップの形式別・都市規模別にみた特徴分析 田中 絵里子*・藤井 敬宏・土屋 潤平・名塚 勇介 (日本大学)</p>	28
13:00	<p>O-12 浦安市の液化化—新旧の地形図を眺めて— 伊藤 等 (日本大学)</p>	30
13:20	<p>O-13 液化化被害把握への時系列地理情報の活用 小荒井 衛 (国土地理院)</p>	32
13:50	<p>《シンポジウム2》 「災害と地図」 13時50分～16時50分</p> <p>Sy-7 趣旨説明</p>	53

	熊木 洋太 (専修大学)	
	Sy-8 東日本大震災初動における国土地理院の地図作成・提供の取り組み 中島 秀敏 (国土地理院)	54
	Sy-9 東日本大震災時の会場保安庁海洋情報部の対応 仙石 新 (海上保安庁)	56
	Sy-10 災害派遣と地図 上條 成和 (陸上自衛隊地理情報隊)	58
15:15	《休憩》《表彰式》15時15分～15時30分	
15:30	Sy-11 東日本大震災と地理空間情報 坂下 裕明 (株式会社パスコ)	60
	Sy-12 災害と地図—東北地方太平洋沖地震に学ぶ— 稲垣 秀夫 (国土地図株式会社)	62
16:50	総合討論 《シンポジウム2》終了	

地図・図書展示時間：10時～16時

第3日 8月10日(火) 10時～16時 巡検(千葉県浦安市)

テーマ：浦安市の液状化被害地跡を歩く

案内者：伊藤 等氏(日本大学)・醍醐 恵二氏(浦安市役所)

集合場所：東京メトロ東西線浦安駅改札口(午前9時50分)

コース：浦安駅(集合)→集合事務所(講演・昼食)→海楽1丁目→美浜→入船→今川
→JR新浦安駅(解散)

募集人員：20名(学会事務局にお申し込み下さい)

参加費：700円(資料代と傷害保険料・実施日に徴収します)

日本地球惑星科学連合 2011 大会発表ポスターの展示

－「地球惑星科学における地図・空間表現」セッション－

日本地球惑星科学連合が毎年 5 月に開催する「日本地球惑星連合大会」（略称:連合大会）では、地理学や地図学も含む無地球惑星科学の各分野にわたる多数の研究発表が行われています。日本国際地図学会では、この連合大会において「地球惑星科学における地図・空間表現」というセッションを運営しています。第 5 回目となる今年度は 5 月 25 日（水）に 17 件の研究発表がポスター形式で行われました。より多くの会員の皆様に連合大会の発表内容を知っていただけるよう、今年度の定期大会でも同じポスターを展示いたします。

政春 尋志：斜軸法地図投影における第 3 の回転の効果

神谷 泉：面積の歪みと角の歪みのバランスを考慮した地図投影法の設計方法

高島 和宏・市川 隆一・高橋富士信他：VLBI 相関処理技術を利用した時空情報正当性検証システムの開発

飯田 誠・丹羽 俊二・鈴木 義宜：土地条件図の色設計について

小荒井 衛・乙井康成・中埜 貴元：航空レーザ技術で作成した景観生態学図について

海津 優・瀧口 博之・垣内 英俊：DSM 簡易作成ツール

佐藤 壮紀・佐藤 浩・橘 悠希子：電子国土 Web システムの概要

中村 孝之・高橋 英尚・飯村 威他：地球規模の課題への地球地図の利活用

阿部 修司・吉田 大紀・小山 幸伸他：拡張現実を用いた地球惑星科学情報の表現

小山 幸伸・吉田 大紀：Virtual Theodolite for Geomagnetic observation の開発

荒木 文明・杉村 剛・川原 慎太郎他：Google Earth 上での地球流体シミュレーションの 3D 可視化表現とその発信方法-EXTRAWING-について

鈴木 智香久・渡邊 眞紀子：ハーバリウム標本情報のジオコーディングによる植生景観の可視化

明石 敬史・森田 喬・小野木 隆之他：東京外濠地区の空間構造の視覚化

石川 剛・佐藤 慧・岡 檀：地形から見た人口密度の算出

鈴木 厚志・崎浜 靖：近代先島諸島におけるマラリア有病地の空間表現：西表島の例

若林 芳樹・小泉 諒・魚住明伸他：東京都心部における近年のマンション開発と人口変化の地図化：日本橋地区を中心として

大西 宏治：子どもの環境地図作成を通じた地図作成技能の形成